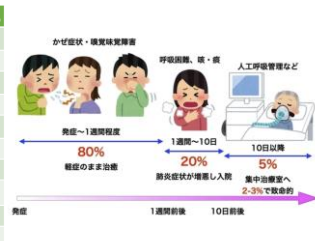


本妙寺こども園に通う子どもさんの保護者の皆様へ

一時期、「もうコロナはおさまってくるのかしら・・・？」と思ったのもつかの間、また再燃し、withコロナという言葉も出てくるようになり、先も見えない感じで不安でお過ごしのことと存じます。8/21に新型コロナウイルスに関することもあわせ、子どもどのように過ごしていくかについてお話をさせていただこうかと考えておりましたが、残念ながら中止となりました。そこで今回お話ししようと思っていたことをダイジェスト版としてプリントにまとめさせていただきます。どの感染症についてもそうですが、「手洗い・うがい・マスク着用」にかなうものはありません。しかし注意点もありますので参考にいただければ幸いです。文責：園薬剤師 後藤美和

コロナウイルス感染症	SARS	MERS	新型コロナウイルス感染症 COVID-19
病原体	コロナウイルス (SARS-CoV)	コロナウイルス (MERS-CoV)	コロナウイルス (SARS-CoV-2)
発生年	毎年	2002年～2003年	2012年～
流行地域	世界中	中国広東省	世界中に拡大
感染経路	ヒト	ヒト	ヒト
感染人数	風邪の原因 10～15%	8098人(死者)	2094人
致死率	極めてまれ	9.4%	34.4%
感染経路	飛沫・接触	飛沫・接触	飛沫・接触
潜伏期間	1人から多数	1人から2人	1人から2人
潜伏期間	2～4日	2～10日	2～14日
潜伏期間	なし	2週間前後	2週間前後



●新型コロナウイルスとは？

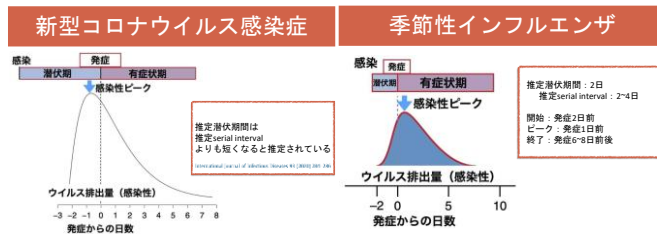
2019年12月下旬に中国武漢の海鮮市場で原因不明の肺炎が発生し、新型コロナウイルスが特定されたことから始まっていますが、実際は12月初旬以前に海鮮市場とは関連のない新型コロナウイルスの症例がみられており、最初の感染源は現時点では中国武漢ではないという見解となっています。症状は風邪やインフルエンザと似ていますが、嗅覚・味覚障害が特徴的です。

●インフルエンザと比べて何に気を付けなければいけないの？

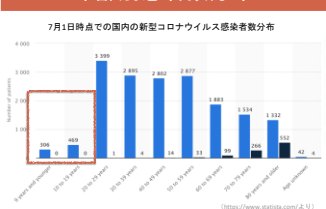
右のグラフをご覧ください。インフルエンザは感染のピークが実際に症状が始めてからやってきます。なので自覚症状が出てからマスクをし始めても感染は広がりにくいです。しかし新型コロナウイルスは感染のピークが自覚症状が出る前にくるため、自覚症状が出てからマスクをし始めても遅いです。このような理由で **普段からマスクを感染の予防かつ感染を広げないためにも着用することが大事**とされています。

●しかしマスクの着用には注意も必要です！

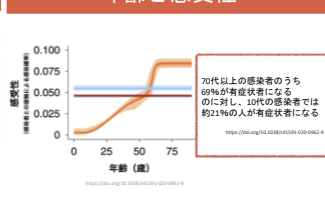
乳幼児は自ら息苦しさや体調不良を訴えることが難しく、自分でマスクを取り外すことも困難です。また正しくマスクを着用することが難しいため、感染の広がりを予防する効果はあまり期待できません。むしろ次のようなマスクによる危険性が考えられます。【①呼吸が苦しくなり、窒息の危険がある。②嘔吐した場合にも窒息する可能性がある。③熱がこもり、熱中症のリスクがある。④顔色、呼吸の状態など体調異常の発見が遅れる。】特に2歳未満の子どもでは①～④の危険性が高まると考えます。**子供がマスクを着用する場合はいかなる年齢であっても、保護者や周りの大人が注意することが必要**です。感染の広がりの予防はマスク着用だけではありません。**保護者とともに集団との3密（密閉、密集、密接）を避け、人との距離（ソーシャル・ディスタンス）を保つことも大事**です。**2歳未満の子どもにマスクを使用することはやめましょう**。（詳しくは日本小児科学会ホームページを参照ください）またマスク着用は換気の良くない屋内で推奨しますが、熱中症のリスク回避のため、体育の授業はマスクを外してよいと文部科学省初等中等教育局（幼稚園、小・中学校を管轄）からも通知が出ています。2歳以上の子どもにおいても、夏場における屋外での遊びや運動についてはマスク着用は不要と考えます。



年齢別患者数分布



年齢と感受性



●でも我が子のコロナ感染はやっぱ心配です・・・

世界の新型コロナウイルス小児感染症から次のような点がわかってきました。子供の新型コロナウイルス感染症は現在のところ心配は少ないようです。しかし**子供の感染が広がる上流には必ず周りの大人の感染が潜在しています**。我々**大人が感染を広げないよう予防に努めることが大切**です。

①子どもが感染することは少なく、ほとんどが同居する家族からの感染である。②子どもの重症例は極めて少ない。③学校や幼稚園、保育所におけるクラスター（集団）感染はほとんどない。④感染した母親の妊娠・分娩でも母子ともに重症化の報告はなく、母子感染はまれである。

定められています。さらに今回の新型コロナ対策として映画館業界独自のガイドラインを設け、厚生労働省や経済産業省の指導のもと、換気システムを充実させた状態にし、かつ3密対策をおこなっているようです。映画鑑賞をしようと思っておられる映画館に問い合わせ、安心安全が担保されると思われるのであれば映画鑑賞も問題ないのではと考えます。ただし先の質問の回答と同じく屋内であることには変わりありませんので、十分な予防対策については考慮願います。

・いつどこでだれが感染してもおかしくないことに不安を感じてしまうのですが・・・

⇒ゼロリスクはまず困難です。最近3密でないところ（バーベキュー等）での感染報告がありますが、解放空間であっても感染源に近ければ感染しやすくなるのは当たり前のことと考えます。食事時やスポーツ時などマスクがない状況でのソーシャル・ディスタンスの取り方が大事かもしれませんが、乳幼児を守るために大人が予防にどれだけ努められるかが肝となるかと思えます。

●新型コロナ対策についてのご質問にお答えします！

・今の時期、外で遊ぶのは暑すぎて室内の遊び場に行きたいですが、感染リスクは高くなりますか？

⇒室内は屋外に比べて感染リスクは上がります。ただし3密回避にて十分室内で遊ぶことは可能です。室内の遊び場の施設によっては予約制にはなりますが、入場を制限して3密を確保している施設もありますので、相談してみるのも一つではないでしょうか。ただ、制限される分予約も取りづらいかと思うので、おうちで親子で遊ぶ時間を充実させるのも子どもとの関係が密になり、子どもの心身を育むよい機会になるのではないかと思います。

・子ども向けの映画が上映されています。子どもは行きたがるのですがリスクを説明しても番組では観に来て！って言うてののどろしてダメなと尋ねてくることに対して説明しづらいのですが・・・

⇒映画館はもともとの構造として窓を開けるようにはできていないため、興行場法により、映画館内の換気や温度、湿度についての基準がもともと（具体的な数値については各都道府県で気候等に応じた数値を決めています）